

スポーツ指導者と選手の動機付けの関連性

1220510 鳥巢靖高

指導教員 中川義典

研究背景

スポーツ基本法は、スポーツを取り巻く現代的課題を踏まえ、スポーツに関する基本理念を定め、国・地方公共団体の責務やスポーツ団体等の努力等を明らかにするとともに、スポーツに関する施策の基本となる事項を規定するものである。今後のスポーツの推進に当たっては、体を動かすという人間の本源的な欲求に応え、精神的充足や楽しさ、喜びをもたらすというスポーツの内在的な価値とともに、前述のようなスポーツが果たす役割を常に念頭におく必要があると述べられている。

研究目的

スポーツ指導者から褒められてモチベーションが下がる事例があるかを確認し、指導者と選手がどういう関係であるべきかを明らかにする事を目的としている。

調査・分析方法

部活動をしている大学生を対象にインタビュー調査 1 名、アンケート調査を 8 名、自分自身の経験を 1 例として計 10 名に調査を行い A さん～ J さんに分類わけをした。q 1 年齢、q 2 性別、q 3 競技名、q 4 指導者から褒められてモチベーションが上がった経験、q 5 指導者から褒められてモチベーションが下がった経験、q 6 指導者から褒められてモチベーションに変化がなかった経験、という 6 項目からインタビュー、アンケートを行った。

分析結果

インタビュー調査、アンケート調査によって既存研究の通り褒められてモチベーションが下がる事例は存在し、タイプ 1 は能感が低下（そのスポーツの能力が低いと感じる）、タイプ 2 は基本的心理欲求の不満が生じる（やらされていると感じる）と定義している。（戸山ほか（2020）のタイプ 1、タイプ 2 の研究結果に加えて、別タイプの事例を新たに発見した。

考察・結論

褒められてモチベーションが下がる事例は存在し、戸山ほか（2020）のタイプ 1、タイプ 2 の結果とは違う事例を発見できた。あたらしいタイプとして、指導者の人間性への信頼の喪失（尊敬できない）と定義し、指導者から他者が劣等者であることを明示するような上から目線の褒め方、他者肯定に勤しむ接待のようなゴマすりをされた時に指導者の人間性への信頼が喪失しモチベーションが下がることが分かった。